

黒浜南小学校 実技教科の指導について

文部科学省「教育活動の再開等に関するQ&A」より 一部抜粋

○各教科の指導について、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動については、当分の間、これを行わない。

- ・音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
- ・家庭科における調理等の実習
- ・体育科における児童が密集する運動や児童が近距離で組み合ったり接触したりする場面が多い運動
- ・児童が密集して長時間活動するグループ学習 等

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続している地域においては、指導順序の変更や、教師による適切な事前・事後指導と家庭における学習の組み合わせによる指導計画の立案など、各教科等の指導計画の見直しを検討し、必要な措置を講じる。

○実技を伴う体育の授業において、どのような点に留意すべきか。

- ・一斉臨時休業において、運動不足になっている児童もいると考えられるため、当面、体育の授業開始時には準備運動を十分に行うよう留意する。
- ・可能な限り授業を屋外で実施したり、児童が集合・整列する場面を避けるなどの工夫をするとともに、用具を使用する前に消毒したり、授業の前後に手洗いを徹底するなど、感染拡大防止のための防護措置等を講じる。

- 1 学校再開当初は、学級活動や、特別の教科 道徳の時間 の実施数を増やすなどして、児童の心のケアを優先させることも視野に入れます。
- 2 実技教科担当者が、指導順序の変更を大胆に行うなどして、現況下でも実施できる授業を、積極的に模索しています。
- 3 体育・音楽・家庭科・外国語の授業は、教科担当と相談の上、夏季休業前までは、弾力的に実施します。(各学級の時間割を変更し、授業交換をして2学期に実技教科の「まとめどり」をする場合があります。)
- 4 音楽は、「鑑賞」の授業を先行させて、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成します。「表現」活動は、授業内のごく短時間で行うなどの工夫を凝らします。
- 5 家庭科は、「家族・家庭生活」や「消費生活・環境」分野の学習を前倒して、知識・技能を高め、実践的・体験的な活動は年度の後半に実施します。
- 6 各教科等の指導と同様に、授業実施場所のこまめな換気(冷房使用時も、30分間に1度)の徹底や、飛沫を飛ばさないよう、マスクの着用や咳エチケットの指導で、感染症対策を講じます。